

Pickup

学びを支える農業用機械 ～この機械、使っています～



各農業関係高校の実習農場には、トラクターやコンバインはもちろん、畜産や果樹・野菜栽培に役立つ、様々な農業用機械が導入されています。

これらの機械の仕組みや使い方について学びながら、農家が実際の現場で行う作業について、生徒たちは更に理解を深めています。

ここでは、各農業関係高校で活躍している農業用機械の一部をご紹介します。

1. モアコンディショナ



牧草を刈り取り、牛の飼料用として加工しやすく圧砕する機械です。トラクターに装着して使用します。

2. ロールベアラ



刈り取った後の牧草を集めて円柱型に圧縮して丸める機械です。トラクターに装着して使用します。

3. スピードスプレイヤー



平坦な果樹園などで使用される農薬散布用の機械です。

後部のノズルから霧状の農薬が带状に散布され、作業効率が高くなります。

4. 乗用草刈機



果樹園などを管理するために、草刈りは大変重要な作業です。

乗用草刈機は作業の効率化や作業者の負担軽減だけでなく、作業事故防止に効果があります。

5. ねぎ管理機



ねぎの栽培や管理を行うため、畝作りや、土寄せに使用します。

学習現場からの声

▶導入された機械はさまざまな部門の実習で活用されています。農業機械の授業では、座学で構造について学んだのち、運転操作などで実際に触れることができます。これらの機械は作業効率の面や経営感覚を身につける学習でも役に立っています。

▶新しい機械が導入されたことにより、作業の効率が良くなりました。牧草の収穫を実際に見学することができ、機械のしくみについて理解するなど教材としても大いに役立っています。